

会 議 録(概要)

会議の名称	令和4年度 第3回佐渡市デジタル化推進検討懇談会
開催日時	令和5年1月31日（火） 9:00～12:00
場所	新穂行政サービスセンター2階 第2・第3学習室
会議内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 座長あいさつ 3 議事 <ol style="list-style-type: none"> 1) ワークショップ実施報告（富士通 Japan 株式会社） 2) ワークショップ実施報告のブラッシュアップについて （課題体系図の内容の精査について） 3) その他 <ol style="list-style-type: none"> ① 「佐渡市デジタル化構想・計画の位置づけ」について ② 今後のスケジュール感について 4 閉会
会議の公開・非公開 （非公開とした場合は、 その理由）	公開
出席者	≪デジタル化推進検討懇談委員≫（9名） ≪市役所≫（7名） ・佐渡市副市長（CIO） 伊貝 秀一 ・佐渡市総務部長 中川 宏 ・佐渡市総務部総務課デジタル政策主幹 中川 裕 総務課デジタル政策室長 椎 俊介 総務課デジタル政策室デジタル推進係長 桃原 里沙 総務課デジタル政策室デジタル推進係主事 長谷川 博也 総務課デジタル政策室情報管理係長 海老名 秀樹
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	なし

会議の概要（発言の要旨）

発言者	議題・発言・結果等
座長	<p>1 開会</p> <p>2 座長あいさつ</p> <p>本日も3時間という長い懇談会となるがご参加いただき感謝申し上げます。</p> <p>第2回の懇談会では、「佐渡市総合計画」の基本目標に基づいて、デジタルという切り口からどのような展開を考えられるのかをワークした。その時の結果と、富士通Japan様が実施したワークショップでとりまとめた結果を懇談会でブラッシュアップするという作業を行いたい。</p> <p>これがどういう意味があるのかということ、とりまとめた結果を整理していくことがこれから作ろうとしている「佐渡市デジタル化構想・計画」というものの土台となっていくものになる。</p> <p>本日は、デジタルという観点から具体的な施策のイメージを描きたいと思うので、デジタルの活用についてまだまだ疑問のある方もいらっしゃると思うが、例えば、「公民館事業とデジタルが重なったら何ができるのだろう」と、具体的にイメージできることは皆さまそれぞれ違うと思うので、分からないことやイメージしづらいことは何でも質問していただきたいと思う。</p> <p>もう1点。施策のイメージをどのような言葉で表現するのかということはものすごく大切なことである。皆さまの持つ引き出しから色々な言葉を取り出して、どんなことが政策の軸として描かれていくべきなのかということ、適切な表現でまとめたいと思うので、柔軟な発想で楽しみながらワークいただけるようお願いする。</p>
座長	<p>3 議事</p> <p>1) ワークショップ実施報告 (富士通 Japan 株式会社より実施報告)</p> <p>ワークショップには延べ84名が参加されたとのことであるが、参加者の属性をお知らせいただきたい。どういった方々のご意見をまとめられたのかをご紹介いただきたい。</p>
桃原係長	<p>16人は市民の方で、残りは10年後に佐渡市を担っていく佐渡市の若手職員に参加していただいている。</p> <p>また、ワークショップの参加者だけでなく、同時に実施しました「広報広聴に関するアンケートおよびデジタル化に関するアンケート」の結果や懇談会の皆さまよりいただいたご意見を混ぜ込みながら計画を作り上げていくという展開となる。</p>
座長	<p>「総合計画」に掲げる5つの基本目標のエキスパートというか、その業務に従事している方ということである。</p>
副座長	<p>最後にご紹介いただいた「ビジョンマップ」については、本日まで報告いただいたワークショップのご報告を受けて当懇談会でブラッシュアップし、それから「ビジョンマップ」の作成に向けて進んでいくという認識でよいか。</p>
桃原係長	<p>そのとおりである。</p>

<p>椎室長 座長 伊貝副市長（CIO）</p>	<p>2) ワークショップ実施報告のブラッシュアップについて（課題体系図の内容の精査について） （アジェンダP.5～6に沿って説明） ご意見等あるか。 「総合計画」の「施策の展開」から「デジタル施策アイデア」を出すという作業をするのか。そして最終的に「デジタル活用でチャレンジすべきテーマ」に集約するのか。 そして、そこで集約された「デジタル活用でチャレンジすべきテーマ」は「施策の展開」を実現するために漏れなく設定されるものなのか、それとも、必ずしもデジタル活用でチャレンジすべき施策ではないものは設定されなくてもよいものなのか。</p>
<p>桃原係長</p>	<p>本日の作業はアイデアを出すことではなく、「デジタル活用でチャレンジすべきテーマ」を考えることである。 「デジタル施策アイデア」は、これまでのワークショップにおいて、参加者が「総合計画」を読み解き、その結果生まれたアイデアであるのでその前提は崩さない。 しかし、おっしゃるとおりアイデアだけであると、実現したい具体的な手段だけが羅列された状態となっているので、今後、市民も含めた様々な関係者が具体的な行動を起こそうとした時に、誰もが納得できるテーマを決めていくということを実行していきたいと考えている。</p>
<p>副座長</p>	<p>「総合計画」に漏れなく対応していくのかというご質問については、必ずしも漏れなく対応するものではないと考えており、デジタルを活用することで特に解決できることには優先度もあるので、そういった部分も表現できればと考えている。 分かりにくい根本的な理由は、具体的な手法が示されてからテーマを決めるということに馴染みがないことである。先に結論があってからテーマを決めるということになると理解が追いつかない。</p>
<p>桃原係長 副座長</p>	<p>この「デジタル施策アイデア」とは「ニーズ探し」という理解でよいか。 よい。 今現在行われていないことを見つけるために、デジタル化のニーズ（「デジタル施策アイデア」）が多いもので、かつ、2軸分析において価値があり効果が出やすいものところにテーマを絞っていくということが今回の流れということによいか。 そして、テーマを設定するにあたり、5つの基本目標に基づく施策があり、基本目標1に基づくものについてはもう決めてあると。基本目標2のものについては全体と一緒にワークしてみて、それ以外の3つの基本目標のものについては分科会で決めていくという流れでよいか。</p>
<p>桃原係長 副座長</p>	<p>そのとおりである。 承知した。 (ワークの実施)</p>
<p>椎室長 座長</p>	<p>3) その他 (①「佐渡市デジタル化構想・計画の位置づけ」について) （アジェンダP.12～14に沿って説明） ご意見等あるか。 なければ、次の議題へ移る。</p>

椎室長	3) その他 (②今後のスケジュール感について) (アジェンダP.15に沿って説明。第4回懇談会は書面開催することとし、第5回懇談会は3月28日に開催することと決定)
座長	ご意見等あるか。 なければ、副座長より閉会のあいさつをお願いする。
副座長	4 閉会 今ほどは今後のスケジュール感と構想・計画の位置づけについて説明いただき、よく理解できたし、当プロジェクトが重要な位置づけであるということも分かった。 「総合戦略」との関連については、座長と私の方から「さど未来創造・戦略推進会議」にしっかりと伝えていきたい。 本日もたいへん長丁場の懇談会ということで、委員の皆さまにはお礼申し上げます。